



鶴嶺東 スクラム ⑥

まちぢから

発行責任者: 鶴嶺東まちぢから協議会 会長 岩壁栄

令和元年度の 鶴嶺東地区 市民集会在開催



去る8月4日に開催された鶴嶺東地区市民集会のご報告です。この市民集会は、昭和43年に始まった「市民と市長の対話集会」の現在形で、当初の行政主導型から、今日の市民と行政の協働によるまちづくりの集会になっています。

市側より副市長、教育長をはじめとして各部署長15名が参加し、市民側から地区内の自治会長はじめとする約70数名の皆さんが参加しました。残念なことに、今年も他の公務と重なり佐藤市長の出席が得られず、多くの参加者より新市長の考えを聞くことが出来ず残念との声が聞かれました。

さて、今年も例年の各自治会からの要望事項に加え、鶴嶺東地区まちぢから協議会として広域にわたる課題解決への要望事項が市側へ提出されました。紙面の都合上、各自治会からの要望は、本紙では項目のみお知らせし、詳細の回答は各自治会のご報告にお任せしたいと思います。ここではまちぢから協議会としての要望事項と市側の回答要旨をご報告します。

鶴嶺東地区まちぢから協議会 要望事項

①相模線北茅ヶ崎駅並びに踏み切り通路の改善検討状況と実現に向けたタイムスケジュールについて

Q 昨年の市民集会において北茅ヶ崎駅の改札からホームまでの経路のバリアフリー化と、同駅橋上化を要望した。「平成30年度、基本設計に着手し、J-R東日本と協議を継続しながら、施設規模、設計内容など精査を行う」、また「今後、同駅橋上化の早期実現に向けて進める」とのことだったが、進捗状況は如何に。

A 北茅ヶ崎駅自由通路橋上駅舎化に関する基本設計を実施した。その結果、管理費、消費税を除いた概算工事費は約25億円、工期が44ヶ月となり、平成25年の調査設計時の概算工事費約15億円、工期約25ヶ月と比べ、10億円の増加、約19ヶ月の工期延長となった。今後のスケジュールについては、概算工事費が増額になったこと、市の他事業との関係もあることから、次の総合計画の中で議論していきたい。

Q 昨年、円蔵自治会が提案した北茅ヶ崎駅へのコミュニティバスの乗り入れは如何に。

A 北部循環市立病院線の利便性向上のためにも北茅ヶ崎駅へのアクセスを研究する必要があると考える。既存ルートの利用状況も踏まえながらルートについても検討していく。

Q 踏切通路は歩行者や自転車、バイクなどによる利用者が多い。円滑な通路の改善策を伺う。

A 北茅ヶ崎駅近くの踏切「北茅ヶ崎踏切」は、通過者が混雑する時間帯には、危険な状況が確認出来る。市としては、J-R東日本と協議するだけでなく、市としても何か対策出来ないか今後調査研究していく。

Q J-R相模線を立体交差で横断する計画について、平成12年度に事業認可を受け、用地回収率は約84%と聞いている。進捗状況は如何に。

A J-R相模線西側の用地買収は、工場等の事業施設が連続的にあり、用地買収等に係わる費用が高額になることから、事業の進捗が図れない状況だ。又、鉄道交差部の立体交差部方式の構造についてはコスト、景観への影響など先進事例の知見を活かしながら、更に研究を進めていく。



③自動車事故から保育園児、学童などを守る安全対策並びに自転車安全講習会の強化について

Q 本年5月に滋賀県大津市や千葉県原市の保育園児が自動車による交通事故に巻き込まれ、大きな被害に遭っている。5月から警察庁、文科省は事故対策の具体策を検討しているが、茅ヶ崎は如何に。

A 一連の交通事故を受け、教育委員会では、小・中学校に対して児童・生徒の登下校時の安全指導と通学路の安全確保に万全を期すよう改めて周知を図った。

児童・生徒への安全指導については、毎年、全小・中学校においては、交通安全教室を実施してきた。具体的には、家庭や体育館に簡易的な信号や横断歩道を設置し、安全な歩き方について学習する機会を設け、また危険な場面の映像などを視聴することで安全に対する意識の醸成を図っている。

A JR東日本により茅ヶ崎駅ホームの安全性向上の取り組みとして、ホーム端をオレンジ色で着色し強調する「CPRライン」が設置された。次に、茅ヶ崎駅を含む東海道線沿線各駅のホームドア設置については、「令和2年度第2四半期以降、令和14年度末頃までに整備する駅」に該当していることを把握している。実施時期については「JR東日本と連絡を取り合いなるべく早く設置されるよう強く要望していく。」



④ジュニア防災リーダー（仮称）の養成検討について

Q 昨年は、東大准教授監修のもと市の支援を受けて、「防災もまちづくりシンポジウム」を開催し、鶴嶺中学校生徒と地域住民が約2年間で計4回のプログラムによるワークショップを実施した。中学生からは、「当事者意識が生まれた」などの意見もあり、地域にとっても「いざ」という場合は中学生の協力も期待されるので、中学生を対象とした「ジュニア防災リーダー（仮称）」の養成について検討して欲しい。

A 中学生への意識啓発や、災害発生時の対応を習得する面では有効な取り組みの一つと考えられる。しかしながら、自助・共助の取り組みは、様々な方法を組み合わせることでより効果が生まれることから、ジュニア防災リーダーの手法だけにとらわれず、学校や地域などとも連携を図りながら、多角的に検討を進めていく。

Q 自転車の安全利用については、これまで小学校、中学校、高等学校などでの交通安全教室を中心として、自転車ルール講習会、月2回のパトロール、無灯火自転車撲滅キャンペーンなどの啓発活動を実施し、交通ルールの遵守やマナーの向上に努めてきた。本年4月に自転車の安全で適正な利用と自転車損害賠償責任保険などへの加入義務を柱とした「神奈川県自転車安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されているので、この条例の周知を図りながらあらゆる機会を捉え、市民へのより一層の啓発に努めていく。



●自治会要望事項

- 以下、各自治会からの要望事項を記載します。
 - ◇ ◇ ◇
 - 《**田蔵自治会**》
 - ①西久保下水路の上部利用について
 - ②田蔵地域への公園の建設について
 - 《**矢畑自治会**》
 - ①ごみと資源物の個別収集について
 - ②信号機の信号時間調整について
 - ③下水道の整備工事について
 - 《**浜之郷自治会**》
 - ①鶴嶺八幡宮前横参道の路面補修について
 - ②鶴嶺八幡宮・鶴嶺小学校入口、鶴嶺小学校南門の通学路検討について
 - ③縦参道松並木の道路管理について
 - ④鶴嶺小学校東側道路の拡幅について
 - 《**下町屋自治会**》
 - ①千の川堤防の安全性確保について
 - 《**TBS自治会**》
 - ①TBS自治会中央の交差点での事故対応について
 - 《**サニータウン自治会**》
 - ①円蔵スポーツ広場東側水路の路面補修について
 - ②一本松公園の遊戯施設の安全点検の実施について
- （広報部会）

鶴嶺東地区では感震ブレーカーの設置を薦めています

茅ヶ崎市は、県内でも火災延焼地域(クラスター)が多いところで、JR東海道線以南に比較的大きなクラスターがありますが、鶴嶺東地区も例外ではなく、3,528棟(茅ヶ崎市平成20年度地震による地域危険度測定調査報告より)のクラスターがあります。地震災害が発生した際、自動的に電気を遮断し、又復旧した際の通電火災を防ぐため、当地区では感震ブレーカーの設置を薦めています。万が一に備え、各ご家庭で感震ブレーカーの設置をご検討ください。鶴嶺東地区まちぢから協議会では、各自治会の希望数を集計して市へ補助金申請をします。ご参考までに各自治会の設置状況を以下にお知らせします。

感震ブレーカー設置状況

令和元年6月現在

自治会名	平成28年度	平成30年度	令和元年度	自治会合計
円蔵自治会		30	500	530
矢畑自治会		31	148	179
西久保自治会		3		3
浜之郷自治会		12	36	48
下町屋自治会		54		54
TBS自治会		29	申請予定あり	29
ホームタウン茅ヶ崎自治会	288			288
サニータウン茅ヶ崎自治会			申請予定あり	
ライオンズ茅ヶ崎ザ・アイランズ自治会			申請予定あり	
年度合計	288	159	684	総合計 1,131台

*市の補助金制度は本体価格(税込み)の三分の二(上限3,000円)までで、各自治会経由でまちぢから協議会がまとめて申請することが条件です。

感震ブレーカー参考商品

株式会社リンテック21 感震ブレーカー ヤモリ GV-SB1 本体参考価格 約¥2,500		株式会社リンテック21 蓋付き分電盤対応感震ブレーカー ヤモリ・デ・セット GV-SET1 本体参考価格 約¥5,000		ケー・アイ技術株式会社 アース線タイプ感震ブレーカー ki感震センサー HKIA002-AS1 本体参考価格 約¥4,950	
--------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

令和元年度活動方針

鶴嶺東地区まちぢから協議会

は、昨年度末の役員会の検討結果を踏まえ、去る5月末に各部会長、副部会長の出席を求め臨時拡大役員会を開催しました。当協議会は発足して3年目ですが、これまでの活動を通して中々達成感が感じられないということが問題として上がりました。現在、鶴嶺東地区まちぢから協議会は、自治会、地区社会福祉協議会、民児協、青少年育成推進協議会、子ども会、老人会など約30数団体からの代表によつて構成されています。そこで、それぞれの団体の活動を尊重した上で、鶴嶺東地区として共通のテーマを決め共有することになりました。当協議会の各部会もこのテーマを意識して、それぞれの活動に反映していくことになりました。そのテーマは・・・

- ① 子育て支援
- ② 子どもの交通安全
- ③ 防災・減災

・・・です。

早速、地域福祉部会、高齢者活性部会、青少年育成部会の3部横の連絡を密にする検討に入っています。これらのテーマは、長期にわたる課題です。少しでも地域の皆さんの安心・安全に貢献出来るよう努めて参ります。

令和元年度鶴嶺東地区まちぢから協議会 役員・監事・部会長

会 長	岩壁 栄 (矢畑自治会長)	防災減災部会長	松本楯臣 (兼任)
副 会 長	松本楯臣 (下町屋自治会長)	環境安全部会長	森谷義明 (円蔵自治会長)
副 会 長	熊澤繁雄 (鶴嶺東コミセン会長)	青少年育成部会長	吉本秀文 (円蔵小学校区推進協会会長)
書 記	齋藤直樹 (鶴嶺東コミセン副会長)	高齢者活性部会長	下江晴治 (円蔵第三老盛会長)
会 計	吉原弘子 (TBS自治会長)	地域福祉部会長	河本親秀 (兼任)
監 事	尾坂 清 (浜之郷自治会長)	広報部会長	齋藤直樹 (兼任)
監 事	河本親秀 (鶴嶺東地区社協会会長)		

第二回・円蔵小学校区 ふれあい夏祭りが開催されました

夏休みに入って最初の日曜日、7月21日に、第二回円蔵小学校区ふれあい夏祭りが、円蔵スポーツ公園を会場に、開催されました。この夏祭りは茅ヶ崎市教育委員会後援のもと円蔵地区青少年指導員を中心とする実行委員会の主催による、この地区では初めてのふれあい夏祭りです。



関係者によると、約750人の参加があり、地域の子どもたちと住民の世代を超えた交流の場となりました。松林地区高田自治会等も参画したこのイベントは、円蔵自治会長・森谷氏によると、鶴嶺東地区は、J・R相模線を境に西と東に分かれ、災害時の避難先は、隣接する松林地区住民ともに円蔵小学校・円蔵中学校・鶴が台小学校・鶴が台中学校になるのです、このようなイベントは地域を越えた絆を作るためにも重要で、これからも継続して欲しいと評価していました。
(広報部)



輪投げに夢中の親子



紙芝居を楽しむ子どもたち

ラジオ体操は地域・学校・子どもたちをつなぐ、まちぢから

鶴嶺小学校区青少年育成推進協議会主催のラジオ体操が鶴嶺小学校校庭で開催されました。「毎年夏休みの始まりと終わりの一週間ずつ、地域のご理解とご協力を頂きながら、小学生のみならず沢山の方々にご参加頂いています。昨年度より『&校庭クリーン大作戦』と銘打ち、7月と8月の最終日には全員で校庭の清掃を行うようになりました。参加人数は全日延べ四千五百人あまり。暑さに負けそうになりますが、あちこちで元気に交わされる挨拶に朝からパワーが湧いてきます。」と推進協からコメントをいただきました。



校長先生と元気にラジオ体操をする子どもたち。今年で第16回目を迎えました。

鶴嶺小学校区のふれあいデー開催

毎年テーマに沿って遊んだり学んだり楽しいイベントです。今年のテーマは「昭和から平成ジャンプで令和へGO!」遊びでつなぐ未来へのバトン」

第17回つるみねふれあいデー
日時：10月19日(土) 10時より
場所：鶴嶺小学校体育館・校庭



昨年のふれあいデーの様子



最新情報は
ホームページから
鶴嶺東地区まちぢから協議会の最新情報をご覧ください

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

▶トップページで鶴嶺東地区をクリック!

首都圏を直撃した過去最強クラスの台風 15号で、交通網寸断、停電、断水などによる生活被害が報道されました。例年、秋は各地区で防災訓練が予定されています。自分(家族)の安全は自ら守ることの重要性を再認識して、防災訓練に参加しようと思います。
(広報部)

編集後記